

abstract: 経済産業省では 2016（平成 28）年度以降、「ビッグデータ新指標開発プロジェクト」に取り組んでいる。

ビッグデータを統計に活用することで、将来的には公表の迅速化、調査項目や地域の細分化が可能となり、公的統計の利活用が促進されると考えられる。

また現在のコロナ禍の様な大きなショックが起こった際には、ビッグデータの活用により現状把握や予測が可能となる。

本講演では、同プロジェクトが市場動向を誰でも観察・分析できるように作成・公開した「BigData-STATS（β版）」の成果を基に、公的統計の政策現場への活用の可能性やビッグデータを用いた統計作成上の課題について議論する。